

今様弁慶の関西支所出張

出張だ、出張だ。

森林総研の勤めには出張がつきものですが、子供を産んでからは一回一回が無事に終わることを祈るような一大プロジェクトになりました。健康状態の維持、電車の中で静かにさせる技のしこみなど、子連れの出張には事前の段取りがいろいろと必要です。いつもは預ける場所の確保に一番神経を使いますが、その点、関西支所には場内に一時保育の施設があるので安心です。保育室の予約をお願いしたら、とても快く手配してくださいました。

まずは行き道、新幹線内で「この人はみんなお仕事を頑張る人なのだから、騒いじゃだめ。」とようやく二才になった娘に諭すと、大きな声で、「みなさーん、お仕事がんばってくださいーい」。慌てて絵本で気を引いて静かにさせます。くまちゃんのぬいぐるみもあるよ。そんなこんなで、かばんは満杯です。一時保育用のシートやおむつの予備などもあって、一泊とは思えない大きさです。折しも当日は雨。折り畳み傘では背負った娘が濡れてしまうので持ってきた大きな傘が、かばんからはみ出しています。まるで弁慶だなあ、とひとりごちました。七つ道具を携えて仁王立ち。なぜだか牛若丸が背中にへばりついていますが。

到着してすぐに娘を預けに保育室のすぎのこへ向かいました。保育士さんにお昼寝のことなどを相談していると、娘は早くもおもちゃや絵本を見つけて、そちらに突進しました。夢中の娘はおざなりに「ママ、バイバイ」と言ってしばしの別れです。保育士さんの会ったばかりの子供と仲良くなるプロの技に感服と感謝です。

夜は懇親会にも娘連れで参加してしまいました。早めに退出しましたが、会議では出ない話をいろいろできて有意義でした。ホテルに着いたら急いでお風呂でおやすみなさい。

二日目の現地見学も無事に終わって、夕方、保育士さんのところに迎えに行きました。「ずっと楽しく遊んでいましたよ。でも、お迎えの少し前の時間に一回『ママ、ママ』と寂しくなっていました。」と聞いて家路に着きます。また背中におんぶで支所からの坂道を下っていたら、小さな手が前に回ってきて、「きゅっ」とされました。もうかなりばてばてになっていましたが、元気が少し入ります。本屋さんに寄ってご褒美の 1 冊を選び、携えて新幹線にのりました。それが気に入って静かにしてくれていた娘に、これ幸いと車内販売のワインを買って祝杯をあげる母でした。

なにかあったら駆けつけられる距離に子供を預けられるのは、出張中の何よりの安心です。このような施設と制度を整えてくださった先人の方々の努力に心から感謝しながら、有効に使って研究や業務を充実させていきたいと改めて思いました。(ete)

初めての近鉄線 懇親会からの帰り道→

